

茨木高校野球部

OB会報

発行

大阪府立茨木高校

野球部OB会

茨高野球部の思い出

高27回 阪脇 哲夫



高校27回卒業の阪脇です。早いもので卒業して今年でちょうど30年です。茨高野球部との出会い、中学一年生の夏休みに出口先輩の茨高のユニフォーム姿を見たことに始まります。先輩は夏の大会を終え、中学の野球部に遊びに来られていたようです。伝統を感じさせるユニフォームであったことを覚えています。高校は茨高に行きたいという目標に加え、あのユニフォームを着たいという目標を持ちました。その夢は幸いにして叶い、3年間の選手生活、および卒

業後の2年間の監督経験を充実して過ごさせていただきました。選手時代、監督時代を振り返ってみたいと思います。選手時代は集中力、チームワークを学びました。夏の合宿を除けば長時間練習した覚えはありません。2年先輩の関野、広野等先輩の「練習は質より量」という言葉を覚えていました。そうならざるを得なかった事情もありました。選手数です。20名足らずですから自然と密度が濃く短時間の練習になりました。私は合格発表後、中学の先輩でもあった広瀬先輩から春休みの練習から参加するように勧められ、入学前の春休みから練習に参加しました。学生服での見学は一日だけで、翌日からユニフォームで先輩に混じって練習しました。そのときの人数は私を入れて10名でした。その数日後には先輩に混じり練習試合に行き、試合にも出ました。硬式のボールを手にして1週間も経っていませんでした。入学式後は中学でやっていったショートのポジションを3年間やらせてもらいま

した。一年生時は大柄な先輩の中に入っただけのびとやらせてもらいました。三年生とは4ヶ月足らずの練習でしたが、短い練習時間を有意義に過ごさせてもらいました。その年(1972年)の夏の大会2勝は集中力とチームワークの成果が出たものと思います。一回戦成器商業戦、関野先輩9回2安打9四死球4対2、練習試合ではやったことないような快勝でした。一回戦終了後の練習で攻守の要のセンター松下先輩が腰を痛められ、次の試合には出場は無理という事態になりました。けがをされた直後のミーティングで池永監督が「松下がもう一試合ができるように皆ががんばれ。」と言われたことを覚えています。一年生の私にはその意味はしばらく理解できませんでした。2回戦の東淀川戦は三年生の気迫はいつもとは違いました。結果は10対0、5回コールド。関野先輩ノーヒットノーラン参考記録のおまけ付。でも完全にスタミナ切れで池永監督が「9回フルに試合していたら結果はわからなかった。」と言われたくらいでした。そのくらい集中し、結束した5回コールド勝ちでした。3回戦は近大附に一回に1点を先行したものの、逆転されて10対2で負けました。この試合に松下先輩が出場されたと思います。この3試合には三年生の集中力とチームワークの総決算がありました。

私の三年生時は三年生4名、二年生10名、一年生8名ぐらいでした。二年生には1975年のベスト4の張本君、高倉君がいました。私の三年の夏はあまりにもあっさり終わりました。4回に先制したものの、此花学院に8回に本当にワンチャンスをものにされ4対1で逆転負けでした。試合時間1時間50分。でもこの敗戦が翌年に茨高野球部史に残る快進撃のスタートでした。ベスト4の年の一回戦は、高倉君が好投するものの打線の援護なく、最終回を残して2対0。最後の攻撃で相手からもらったチャンスを代打今泉君のヒット、張本君のサヨナラ打で逆転勝ち。ベスト4へのスタートを切りました。集中力の差が1回戦負けとベスト4の差となりましたが、逆を言えば、勝敗は紙一重ということ。その後の自分の人生に生かしています。最後まで気持ちを切らさないのが今でも自分の信条です。ベスト4の年の2年後から2年間、監督をやらせていただきました。ベスト4の余韻が残る時期ということもあり、諸先輩から大きな期待を受け、援助をもらいながらやらせていただきました。戦術も年代の近い先輩からも親父くらい年齢の違う先輩からも教わりました。選手とも年代が近いこともあり、兄貴的に共に楽しい時代を過ごしたと自負しております。監督時代は今だから白状しますが、自分がやったことないくらい練習をやりました。私の残した悔いは選手には持たせないという自分の信念でやりました。結果は77、78年とも2勝をあげることが出来ました。ともに練習の成果がそのままたた大会でした。特に2年目の78年は練習試合でほとんど成果が上がらず、大会直前まで主戦投手が決まらない年でした。試合にならないかもしれないという不安をかき消すために、本当によく走り、守備練習をしました。出来ることを確実にやる、あきらめない気持ちを持ち、チーム全員で勝ち取った2勝でした。私が三年生時に勝つことが出来なかった気持ちを晴らしてくれた勝利でした。私の年代を中心とする楽しい思い出はまだありますが、これくらいにしておきます。

最後に今年4月29日に学年の同窓会を催しました。卒業生450名中240名を超える大盛況でした。30年の月日を忘れさせるひと時でした。同窓の友人の中に渡辺君、マネージャーの山路さん、水落さん、顧問の清田先生と会いました。年は取りましたが皆さん元気ででした。茨高の野球部の行事にもほとんど顔を出していませんが、30年を機にまた足を茨木方面にかけたいと思います。